

令和3年8月3日  
事務連絡

学生 各位

## 新型コロナウイルス感染予防対策について

8月2日、大阪府に対し4度目となる緊急事態宣言を発令され、本学の「新型コロナウイルス感染拡大防止に関する行動指針」を「レベル3」へ引き上げることとしました。

引き続き、以下の項目を遵守するようにしてください。

### (1) 登下校に関すること

- ① 登校前に必ず検温を行うこと。(健康管理シートを記入のこと)
  - ・風邪の初期症状(健康管理シート2項目以上該当)があった場合は無理せず、自宅療養し、登校停止とする。
  - ・37.5℃以上の発熱や体調不良がある場合は、登校を禁止する。
- ② 外出中は、マスクを常時着用すること。
- ③ 配布された消毒用小型スプレー、大学構内に設置された手指消毒液を用いて、手指消毒・物品消毒を積極的に行うこと。
- ④ 授業終了後は、不必要な滞在を避けて下校すること。
- ⑤ バス乗車時は、会話を慎むこと。
- ⑥ 帰宅時は、必ずうがい・手洗いをを行うこと。

### (2) 対面授業(座学)に関すること

- ① 座席は、隣り合わせに座らないなど離れて受講すること。
- ② 授業中は、定期的に窓を開放し、換気を小まめに行うこと。
- ③ 使用する机・座席・教育備品等の消毒清拭は、消毒用小型スプレーにて積極的に各自で行うこと。

### (3) 実技の練習に関すること

- ① 授業外で技能練習を行う場合、マスク・手袋・ゴーグル等を使用して必ず教員立ち合いのもとで行うこと。
- ② 自習終了後は、使用場所・使用物品等の消毒清拭を必ず行うこと。

#### (4) 休憩時間

- ① 長時間、換気の悪い密閉空間での自習や密集することを極力避けること。
- ② 昼食時は、対面摂食、および会話を慎み、不必要な滞在を避けること。  
飲食時以外は、マスクを常時着用すること。
- ③ トイレ待ちでは、一定の距離を保ち、トイレ使用後は蓋を閉めてから流すこと。
- ④ 図書館、CALL 室を利用する場合、座席は一定の距離を保つこと。
- ⑤ 教室、食堂の椅子を既定の場所から移動させないこと。
- ⑥ 床に置いた荷物は、机の上に置かないこと。
- ⑦ 大学構内を移動する際、密にならないようにし、エレベーターの使用は密にならない範囲で使用する。

#### (5) その他

- ① 課外活動は、禁止する。
- ② 不要不急の外出は自粛すること。
- ③ 不要不急の帰省や旅行など都道府県間の移動は極力控えること。
- ④ 次のような密な集まりのある場所への出入りを自粛すること。
  - ・飲食を伴う施設(居酒屋、バー等)
  - ・遊興施設(カラオケ店、パチンコ店、ネットカフェ、ゲームセンター、ライブハウス等)
  - ・屋内運動施設(ボーリング、スポーツクラブ、ジム等)
- ⑤ アルバイトは、感染リスクが高い遊興施設は避け、不特定多数の接客を行う店は自粛すること。
- ⑥ 新型コロナウイルスに感染した場合は直ちに大学に連絡すること。医師の許可がおりるまで登校禁止とする。
- ⑦ 保健所等から濃厚接触者と認定された場合は、直ちに大学に連絡すること。
- ⑧ 配布された消毒用小型スプレーの消毒液がなくなった場合は、1号館1階事務局で消毒液の補充をしてください。

日常生活においても、「密閉・密集・密接」を常に意識し、換気が悪い密閉空間を避けるや、人が多く集まる密集場所での距離(2m程度離れること)への留意や会話、大声での発声による飛沫が生じる密接場面を避けて行動してください。

本件問い合わせ先  
大阪河崎リハビリテーション大学  
学生委員会

## 新型コロナウイルス感染拡大防止に関する行動指針（大阪河崎リハビリテーション大学）

2021年8月3日

第18回危機管理委員会決定

※ 現在（8/3～）のレベルを色付けしています。

活動制限レベル	構内の立ち入り	授業形態（対面/遠隔）	実習科目への対応	研究活動	課外活動など	学内会議	イベント（式典・各種行事など）	スポーツ施設開放事業（施設貸与）	事務職員、教務職員等の勤務体制	
制限・最小	レベル 1 外出自粛もしくはイベント等の開催自粛の検討が要請されている状況	感染拡大に注意することで入構可	感染拡大に注意して、対面による授業を実施する。	感染防止に注意しながら、ほぼ全項目の実習を行う。	感染拡大に注意して実施する。	合宿・バス遠征など「3密」となる活動は中止し、感染拡大に注意して実施する。	感染拡大に注意し、会議を実施する。	感染拡大に注意して必要性の高いイベントのみ実施する。	施設利用者に、感染拡大に注意いただくことで貸与する。	感染拡大に最大限注意しつつ通常の業務を行い、時差勤務体制を実施する。
制限・少	レベル 2 外出自粛もしくはイベント等の開催自粛が要請されている状況	感染拡大に最大限注意することで入構可	遠隔授業を推奨するが、対面による授業の場合は、感染拡大に最大限注意して実施する。	学生同士の直接的接触があるが、日常的に臨床現場で実施されているものであり、大声などを発する必要がある項目に限り実習を行う。	自宅での研究を推奨するが、構内において研究活動を行う場合は、感染拡大に最大限注意して実施する。また、研究関係者は学内滞在時間をできる限り減らす。	感染拡大に最大限注意して実施する（一部活動制限）。	感染拡大に注意し、会議を実施する（オンラインによる会議を推奨）。	原則として、学生募集に必要なイベント以外は延期または中止する。入試説明会などは可能な限りオンラインで行う。	施設利用者に、感染拡大に最大限注意いただくことで貸与する（一部貸与制限）。	感染拡大に最大限注意しつつ通常の業務を行い、時差勤務体制を実施する。
制限・中	レベル 3 学校臨時休校の検討が要請されている状況あるいは緊急事態宣言が解除後に段階的緩和がされている状況	入構制限 適切な感染防止対策を徹底することを前提に、一部の許可された施設の使用を認める。	原則として遠隔授業とする。ただし、対面授業以外で代替できない科目については、適切な感染防止対策を徹底することを前提に、一部対面授業として認めることができる。	学生同士の直接的接触が少なく、物品を介した接触が中心となる技術項目について実習する。	代替手段もなく、重要もしくは緊急に実施すべき実験・研究等は、適切な感染防止対策を徹底することを前提に、必要最小限の構内への立ち入りおよび研究活動の実施を認めることができる。	原則、全面禁止（オンラインミーティングの推奨） ただし、適切な感染防止対策を徹底することを前提に、一部認めることができる。	感染拡大に注意し、対面会議は必要最小限で実施する（オンラインによる会議に移行）。	原則、イベントは延期または中止する。	原則、貸与を中止する。ただし、利用者が適切な感染防止対策を徹底することを前提に、一部認めることができる。	感染拡大に最大限注意しつつ業務を行い、時差勤務体制や交代勤務体制による遂行を検討する。一部業務の遅滞、事後処理を許可し、出勤する職員を可能な範囲で少なくすることを検討する。
制限・大	レベル 4 学校臨時休校あるいは緊急事態宣言が要請されている状況	原則、入構禁止	原則として、遠隔授業のみとする。	学生一人で取り組むことが可能な技術項目を実習し、物を見たことがない、触ったことがないという状況を避けるための経験項目に限る。	代替手段もなく、重要もしくは緊急に実施すべき実験・研究等は、適切な感染防止対策を徹底することを前提に、最小限の構内への立ち入りおよび研究活動の実施を認めることができる。なお、学生の入室は禁止とする。	原則、全面禁止（オンラインミーティングの推奨）	原則、オンライン会議とする。	イベントは延期または中止する。	貸与を全面中止する。	感染拡大に最大限注意しつつ、時差勤務・在宅勤務・交代勤務体制または自宅待機を実施する。業務を継続するため、一部業務の遅滞、事後処理を許可し、必要最小限の職員が出勤する体制とする。
制限・最大	レベル 5 都市封鎖が要請されている状況	入構禁止	遠隔授業のみとする。	実習は禁止とし、感染防止教育を確実に行う。	研究機能の最低限の維持のため、生物の世話、液体窒素の補充、サーバー維持などを目的に、適切な感染防止対策を徹底した上で、教職員のみの一時的入室を許可する。なお、学生の入室は禁止とする。	全面禁止	原則、オンライン会議とする。	イベントは延期または中止する。	貸与を全面中止する。	キャンパスの保安・保全・業務管理上必要最小限の業務以外は、原則として在宅勤務または自宅待機とする。

〈活動制限レベルの設定および措置について〉

活動制限レベルの設定および措置は、国内の感染拡大状況、政府等による要請のレベルを総合的に勘案して、危機管理委員会委員長が決定する。

なお、本行動指針はあくまで指針として示すものであり、状況を総合的に検討した上で、措置の変更や上記にない措置を判断することがある。